

博士課程

2020

授業科目〈シラバス〉

沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究科

授業科目〈シラバス〉について

この「2020 授業科目〈シラバス〉」は、令和2年度に大学院芸術文化学研究科で開講される（一部休講科目を含む。）授業科目について、各担当教員から提出された授業科目〈シラバス〉をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、履修案内については、別冊「履修便覧」に記載しています。

1. 集中講義科目については、単位数・学期欄の（）内に表記されています。
2. 担当教員名欄には、科目の指導担当教員全員の氏名が記載されています。
3. 担当教員名欄の（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
4. 履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。

大学院芸術文化学研究科開設授業科目一覧表

科目コード	科目名	単位	学期	履修年次	授業区分	ページ
90112	芸術表現総合比較研究Ⅰ	2	通年	1・2	演習	1
90113	芸術表現総合比較研究Ⅱ	2	通年	2・3	演習	2
90228	比較美学研究A	2	後期	1・2	講義	3
90229	比較美学研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	4
90230	比較芸術学特殊研究A	2	前期	1・2	講義	5
90231	比較芸術学特殊研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	6
90242	日本芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	7
90243	日本芸術批評史研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	8
90244	東洋芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	9
90245	東洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	10
90234	西洋芸術批評史研究A	2	後期	1・2	講義	11
90235	西洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	12
90216	民族工芸論研究	4	通年	1・2	講義	13
90217	映像論研究	2	前期(集中講義)	1・2	講義	14
90246	日本芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	15
90247	日本芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	16
90248	民族芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	17
90249	民族芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	18
90251	東洋芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	19
90252	東洋芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	20
90250	民族芸術学特論	2	後期(集中講義)	1・2	講義	21
90253	比較民俗学研究A	2	前期	1・2	講義	22
90254	比較民俗学研究B	2	後期	1・2	講義	24
90238	東洋工芸史研究	4	通年	1・2	講義	26
90220	西洋音楽史研究	4	通年	1・2	講義	27
90221	日本音楽史研究	4	通年	1・2	講義	28
90223	民族音楽学研究	4	通年	1・2	講義	29
90224	琉球音楽論研究	4	通年	1・2	講義	30
90225	民族舞踊学研究	4	通年	1・2	講義	31
90226	民俗芸能論研究	4	通年	1・2	講義	32
90227	琉球楽劇論研究	4	通年	1・2	講義	33
90239	楽曲分析研究	2	後期	1・2	講義	34
90240	アートマネジメント研究	2	通年	1・2	演習	35
90241	芸術学研究	2	通年	1・2	講義	36

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90221	日本音楽史研究	4単位 通年	1・2	講義	高瀬 澄子

■テーマ 日本音楽の歴史的研究

■授業の概要

日本音楽の歴史的研究に関する文献を講読する。講読する文献には、東アジアの周辺地域（中国や琉球）の音楽に関する文献も含まれる。

■到達目標

- ・日本音楽の歴史的研究に関する様々な方法や問題を理解していること。
- ・授業の中から課題を見出し、授業で学んだ方法を用いて自ら研究できるようになること。

■授業計画・方法

令和2年度は、江戸時代の一節切尺八・箏・三味線の独習書として知られる『糸竹初心集』（中村宗三、1664）を取り上げる。

前期

1. 総論
2. 文献の講読 1
3. 文献の講読 2
4. 文献の講読 3
5. 文献の講読 4
6. 文献の講読 5
7. 文献の講読 6
8. 文献の講読 7
9. 文献の講読 8
10. 文献の講読 9
11. 文献の講読 10
12. 口頭発表 1
13. 口頭発表 2
14. 口頭発表 3
15. 総括

後期

1. 前期レポートの講評
2. 文献の講読 1
3. 文献の講読 2
4. 文献の講読 3
5. 文献の講読 4
6. 文献の講読 5
7. 文献の講読 6
8. 文献の講読 7
9. 文献の講読 8
10. 文献の講読 9
11. 文献の講読 10
12. 口頭発表 1
13. 口頭発表 2
14. 口頭発表 3
15. 総括

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・毎回の授業にて、日本史年号の復唱と簡単なくずし字の演習を行うので、予習しておくこと。
- ・古文・漢文の辞書を持参すること（電子辞書でもよい）。
- ・文献はあらかじめ読んでおき、わからない用語や歴史的背景などを調べておくこと。
- ・講読の状況に応じて、授業中に小さな課題を与えることがある。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（50%）、学期末レポート（50%）。平常点は、授業への参加状況、授業中の課題や口頭発表などを評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。
芸術文化学研究科（博士課程）の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 適宜プリントを配布する。

□テキスト 適宜プリントを配布する。

□参考文献 浅野健二他監修『日本歌謡研究資料集成 第3巻 糸竹初心集 糸竹大全 糸竹古今集』勉誠社、1978年。